

社団法人 日本物理学会

2010年度(2010年1月1日～12月31日)事業計画書

1. 学術的会合

1-1. 年次大会・春季大会

1-1-1. 第65回年次大会

会期：3月20日(土)～23日(火)

会場：岡山大学津島キャンパス(岡山市北区津島中)

1-1-2. 秋季大会

1-1-2-1. 素粒子論、素粒子実験、理論核物理、実験核物理、宇宙線・宇宙物理の各領域

会期：9月11日(土)～14日(火)

会場：九州工業大学戸畑キャンパス(北九州市戸畑区仙水町)

1-1-2-2. 上記以外の領域(主に物性関係)

会期：9月23日(木)～26日(日)

会場：大阪府立大学(堺市中区学園町)

1-2. 第6回Jr.セッション

会期：3月21日(日)

会場：第65回年次大会会場(岡山大学津島キャンパス)

1-3. 市民向け講演会

年次大会、秋季大会開催時に高校生・一般市民向けの講演会を開催する。

1-4. PTP・JPSJ関係シンポジウム

年次大会においてシンポジウムを開催する。

1-5. 日本学術会議関係シンポジウム

年次大会において連携シンポジウムを開催する。

1-6. 国際会議の共催

1-6-1. アジア・ヨーロッパ物理学サミット(ASEPS)

(Asia - Europe Physics Summit)

主催：European Physical Society、Association of Asia-Pacific Physical Societies

会期：2010年3月24日(水)～26日(金)

場所：つくば国際会議場(茨城県つくば市竹園)

本会代表運営委員：野崎光昭(KEK)

1-6-2. 第1回世界加速器会議(IPAC2010)

(The 1st International Particle Accelerator Conference)

主催：第1回世界加速器会議組織委員会

会期：5月23日(日)～28日(金)

場所：国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

本会代表運営委員：黒川眞一(KEK)

1-6-3. 第10回日本 ロシア 独立国家共同体 バルト3国強誘電体会議

(The 10th Russia/CIS/Baltic/Japan Symposium on Ferroelectricity)

主催：第10回日本 ロシア 独立国家共同体 バルト3国強誘電体会議実行委員会

会期：6月20日(日)～24日(木)

場所：東京工業大学すずかけ台大学会館(すずかけホール)(横浜市緑区長津田町)

本会代表運営委員：伊藤 満(東工大)

1-7. その他の学術的会合

1-7-1. 科学セミナー

テーマ：(スピン関係で検討中)

会 期：(未定)

場 所：(東京大学を予定)

1-7-2．公開講座(科研費補助金研究成果公開発表(B)を申請)

対象：主に高校生

1-7-2-1．理事会企画

テーマ：超伝導からみる科学技術の最先端

会期：11月6日(土)午後

場所：東京大学本郷キャンパス小柴ホール(東京都文京区本郷)

1-7-2-2．大阪支部企画

テーマ：物理学の基礎研究から広がる現代科学

会期：11月23日(火、祝)午後

場所：臨床研究情報センター(神戸市中央区)

1-7-3．楽しい物理教室

国立科学博物館、日本物理教育学会との共催で、年5回開催

対象：小学高学年・中学生

場所：国立科学博物館(東京・上野)

1-7-4．世田谷区中学生講座

世田谷区教育委員会に協力して、年5回程度開催

対象：世田谷区内の中学生

1-7-5．支部例会等

北海道、東北、新潟、名古屋、北陸、京都、大阪、中国、四国、九州の各支部において適宜開催。

1-7-6．国内会議、国際会議等の共催・協賛・後援

他学協会等主催の国内会議、国際会議等を理事会で審議のうえ共催・協賛・後援。

2．刊行関係

2-1．日本物理学会誌

第65巻1号～12号 月刊 A4判 毎号約120ページ 各18,000部発行。

なお、年次大会・秋季大会のプログラムを3月および8月に増刊号としてそれぞれ発行予定。

2-2．Journal of The Physical Society of Japan (JPSJ)

Vol.79 No.1～12 冊子版：月刊 A4判 毎号約260ページ 各560部発行。

電子版：月2回刊行。電子版公開は各回平均22編。

No.13(Index)はVol.79から廃刊。

なお、機関購読はオンライン版のみの購読体系を設け、機関の規模などに応じた多段階価格制(Tier制)を導入。これにより、印刷部数の減少が見込まれる。

刊行業務は応用物理学会と協同運営するIPAPが行う。

2-3．JPSJのデータベース化(科研費補助金を受けて作成予定)

全文検索テキストファイルを作成予定(過去20年間分)

2-4．その他

下記の研究資料等を発行し会員等の希望者に有料または無料で頒布する。

2-4-1．講演概要集

年次大会・秋季大会の講演概要集各4分冊

2-4-2．物理学論文選集

刊行しない

2-4-3．科学セミナーテキストの紙版または電子版

2010年度に開催する科学セミナーテキストの紙版または電子版を作成予定

2-4-4．大学の物理教育

3月、7月、11月の年3回発行

2-4-5．公開講座テキスト（無料）

2010年度に開催する公開講座のテキスト

2-4-6．会員名簿

書籍出版はしない

2-4-7．JPSJ Supplement

3月に以下を刊行予定

"Proceedings of the 3rd International Conference on Physics of Solid State Ionics"

3．国際交流・協力関係

3-1．オーストラリア・ヨーロッパ・ドイツ・韓国・台湾・香港・メキシコ・ポーランド・アメリカ・イギリス、等の物理学会、およびその他の諸団体との交流・協力

3-2．AAPPS(アジア太平洋物理学会連合)への参加・支援

3-3．AAPPS Bulletin刊行への援助

3-4．ASPEN(Asian Physics Education Network)への協力

3-5．開発途上国へのJPSJ別刷代援助およびJPSJ等の寄贈

3-6．IUPAP(International Union of Pure and Applied Physics)への支援

3-7．UNESCO PAC(Physics Action Council)への協力

3-8．APS(The American Physical Society)のCouncil Meetingへの代表派遣

3-9．APPC(アジア太平洋物理学会議)への協力

3-10．IUPAPのWomen in Physicsへの協力

3-11．アジア欧州物理サミットへの協力

4．図書・雑誌の供覧および物理学史資料の利用

本会所蔵の図書・雑誌を会員の利用に供する。また本会所蔵の物理学史資料の利用希望に応じる。

5．日本物理学会論文賞

JPSJおよびPTP掲載論文の中から5篇以内を選び表彰する。

6．日本物理学会若手奨励賞

学会講演、学術論文、学位論文などの中から、各領域が推薦し、理事会で選び表彰する。

7．キャリア支援センター

文部科学省が公募した「科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業」に応募し採択された事業名「物理学の資質を持つ人材活用のためのキャリアパス開発全国展開」については、本会内に設置した標記支援センターを中心に、東京大学、金沢大学、お茶の水女子大学、神戸大学大学院人間発達環境学研究所の4つの機関と連携して事業を遂行してきたが、3月末で事業終了期限を迎える。ただし、事業については、標記センターを存続させる形で継続する。

8. 新公益法人化への対応について

2008年12月に新公益法人制度が施行され、本会も移行期間の5年以内に、一般社団法人へ移行する方針としており、引き続き移行準備を行う。

9. 理論物理学刊行会のPTP出版事業の本会への移行について

2013年4月を目途に移行することとしており、引き続き移行準備を行う。

10. 日本学術会議との関係について

2005年10月に発足した新学術会議との連携をはかり、物理分野での研究推進の活動を進める。

11. 物理チャレンジ・オリンピック関係について

物理チャレンジ・オリンピック日本委員会主催の“第6回全国物理コンテスト「物理チャレンジ2010」”を共催し、運営に協力する。

12. その他

12-1. 理事会で適当と認められた事業

各種委員会等での検討をもとに理事会で承認した事業等。

.....

なお、上記のほか次の欧文誌を共同で発行する。

12-2. Progress of Theoretical Physics (PTP)

本会との共同で理論物理学刊行会から発行。

Vol.123 No.1~6、Vol.124 No.1~6、月刊

B5判、毎号 約 250ページ、各770部発行

創刊号からの電子版をインターネットで提供。

Supplement 数冊を発行予定。